

情報基礎 B 第 1 回 オリエンテーション

長江 剛志

(nagae@m.tohoku.ac.jp)

東北大学大学院工学研究科
技術社会システム専攻

2015 年 4 月 10 日 (金)

はじめに

- ▶ 講義資料は https://github.com/nagae/ICL_B からダウンロードできます。

[illegible]

授業概要 (1)

講義の目的

情報の科学と技術からのアプローチにより、大学生としての基本的な **アカデミック・スキル** を獲得するとともに、情報社会の責任ある市民としての **ソーシャル・スキル** を獲得する

到達目標

- ▶ 情報技術を活用した基本的な **知的生産活動** が可能になる
- ▶ コンピュータサイエンスの手法による **論理的思考と問題解決** ができるようになる
- ▶ 情報社会の一員として **責任を自覚** し、情報の科学・技術と人間との関係に問題を発見できるようになる

Microsoft Windows や Microsoft Office などの **標準的 (?) OS / ソフト** の使い方を学ぶ **パソコン教室** ではありません。

授業概要 (2)

大まかな構成

- ▶ イントロダクション 今回含めて 2 回
- ▶ アカデミック・スキル I (情報技術による知的生産の基本) 7 回
 - ▶ コンピュータを使った文章・図表の作成
- ▶ アカデミック・スキル II (コンピュータサイエンスによる論理的思考と問題解決) 5 回
 - ▶ C 言語を用いたプログラミング
- ▶ ソーシャル・スキル (情報社会における責任) 1 回
 - ▶ 情報倫理と法に関する事例紹介

授業概要 (3)

情報基礎 B の講義方針

- ▶ 大学生になったからには、教わるのではなく学ぶ姿勢で
- ▶ 情報技術の基本は「習うより慣れる」
- ▶ 自分でどんどん調べ、判らないことやトラブルが発生したら手を挙げて 教員/TA にどんどん質問しよう

注意事項

- ▶ インターネットでの情報の発信/取得には注意しよう
 - ▶ 個人情報や他者を貶める情報を発信しない (攻撃の対象にされたり、就職に不利になることが)
 - ▶ 情報を適切に取捨選択する (信頼できる情報源か否かを判断できる能力を養おう)

授業概要 (4)

- ▶ 社会の一員として **法律を遵守** しよう … 下記のようなことは **厳禁**
 - ▶ 他人の著作物 (文章, 写真, 図表) を無断でコピー
 - ▶ 不法にコピーされた音楽・映画などを端末で試聴
 - ▶ 他人の名誉を毀損する情報を発信
 - ▶ ログオフし忘れた他人のフォルダを覗く
- ▶ **情報セキュリティ** を高めよう
 - ▶ <http://www.is702.jp> などでセキュリティに関する意識・知識を高めよう
 - ▶ **弱いパスワード** の使用, 同一パスワードの **使い回し**, パスワードの **貸し借り** は **厳禁**
 - ▶ 個人情報 (住所, 電話番号, クレジットカード番号など) は **無闇に入力しない**
 - ▶ 個人所有の PC には, 必ず **セキュリティソフト** を導入

成績評価方法

出席 (20%) とレポート (80%) で評価。

欠席の取り扱い

3 割以上の欠席で 単位取得不可 となる。全 14 回中 5 回以上欠席で単位取得権利を失うので注意。

例外) 5 月 1 日 (金) は 各自演習 とするため、出席は必須としない (出欠のカウントに入れない)。

レポートの配点

レポートは全 4 回を予定。配点は以下を予定。

課題 I	20 点
課題 II	30 点
課題 III	40 点
課題 VI	10 点

上記配点は、並行クラスとの成績分布が大きく異ならないように調整される可能性がある。

システムへのログイン

東北大学生のための教育系情報システムオンラインガイド
(http://www.dc.tohoku.ac.jp/guide/ICL/index_ICL.html)
を参照.

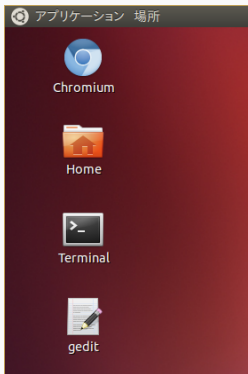
1. PC の電源を (入ってなければ) 入れる
2. マイデスクトップで 「Ubuntu」 を選択
3. 起動画面で ユーザー名 と パスワード を入力

ユーザー名	パスワード
学籍番号	東北大 ID パスワード

東北大 ID パスワード を記載した封筒が届いていない人は、
所属する学部の教務課窓口 まで.

ウェブブラウザの起動

WEB ブラウザとして Chromium と Firefox が用意されている.
Chromium はデスクトップ上のショートカットから起動できる.



Firefox は [アプリケーション] → [インターネット] メニューの中にある.

東北大 ID パスワードの変更 (1)

パスワード変更方法

統合電子認証システム

(<https://www.srp.tohoku.ac.jp/webmtn/>) からパスワードを変更できる. 具体的な方法は, 東北大 ID パスワードの変更手順 (<http://www.dc.tohoku.ac.jp/guide/local/auth/auth.html#ChCPW>) を参照.

マシなパスワードの作り方

拙作「少しはマシなパスワードの作り方」

(<https://nagae.github.io/itl/password.html>) で紹介している「基本形 + サイト/サービス別コード」のパスワードをオススメする.

東北大 ID パスワードの変更 (2)

これだけは絶対に守ること!

- ▶ 初期パスワードのまま **放置しない** → 3 回目くらいの講義から ログインできなくなる
- ▶ **弱いパスワード** を使わない → 短い, 英数字や記号が混ざってない, 辞書にある単語の羅列, などは 総当たり などでマッハで破られる.
- ▶ 1 つのパスワードを複数のサイトで **使い回さない** → どこかのサイトで流出したら 使用サービス全部の情報を抜かれる

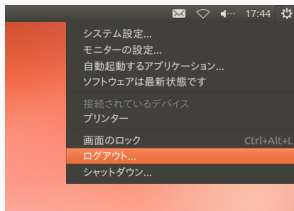
使い終わったらログアウトしよう

講義の終了時には **必ず** 端末から **ログアウト** すること。

- ▶ ✕ ディスプレイだけ消す → 他人に自分のファイルを覗かれる。別の場所でログインできない。
- ▶ ✕ 端末の電源をいきなり落とす → ファイルが消える。

ログアウトの方法

1. 右上のボタンから **ログアウト** を選択



「シャットダウン」はしない

2. しばらく待って OS の選択画面が表示されれば完了。

SRP (secure reverse proxy) の設定

SRP とは

学外から学内の情報サービス (学務情報システム, DCMail など) を利用する際の **利用者認証** を行うための逆プロキシ。

イメージマトリクスの変更

- ▶ SRP では, 東北大 ID+東北大 ID パスワードによる認証に加えて, **イメージマトリクス認証** を行う。
- ▶ イメージマトリクスの **初期設定** は 東北大 ID パスワード と同じ封筒に記載されている。
- ▶ SRP の解説ページ (http://www.dc.tohoku.ac.jp/guide/SRP/index_SRP.html) の「2. イメージマトリクス認証用秘密鍵を変更する」に従って, **イメージマトリクスを変更** すること。

DC (digital campus) Mail (1)

- ▶ 東北大では全学生に **DCMail サービス** を提供している
<http://www.dc.tohoku.ac.jp/guide/Mail/mail.html>
- ▶ 1つのメール・アカウントで **3つのメール・アドレス** を利用できる:

全学メール・アドレス 入学後, **一貫して不変** なアドレス.
氏名に基づいて自動的に決まり, ユーザーが変更することはできない.

(例: tohoku.taro.a0@dc.tohoku.ac.jp)

サブ ID アドレス ユーザーが **独自に設定できる** アドレス.
統合電子認証システム から設定可能.

(例: TaroTohoku@dc.tohoku.ac.jp)

学籍番号アドレス ユーザーの **学籍番号** で決まるアドレス.
学外からのメールは受け取れない.

(例: b5tm9999@dc.tohoku.ac.jp)

DC (digital campus) Mail (2)

- ▶ DCMail は スマホなどのメールアプリ でも送受信できる.
POP/IMAP(受信) と SMTP(送信) の設定方法は
http://www.dc.tohoku.ac.jp/guide/Mail/index_dcmail.html#mailsoft を参照.

安否確認システム用のメールアドレス登録

- ▶ 東北大では、災害などの有事の際に、学生・教職員 **全員** の安否を効率的に確認するため **安否確認システム** (<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/somu/anpi/>) を導入している.
- ▶ 安否確認システムを利用するには、**学務情報システム** に「転送用メールアドレス」を登録する必要がある.
- ▶ 具体的な登録方法は、操作マニュアル (<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/somu/anpi/manual1.pdf>) を参照

演習室の利用案内

<http://www.dc.tohoku.ac.jp/guide/ICL/ICL.html> を参照.
大事な事項の抜粋：

- ▶ 占有されていない時間帯 は自習のために自由に利用できる (<http://www.cite.tohoku.ac.jp/calender.html>)
- ▶ 1 人あたりに割り当てられている記憶容量は 1.5GB
 - ▶ ディスク使用量が容量制限の上限に逼迫してくると、システムにログインできなくなる場合がある
- ▶ 1 人が 1 年間に印刷できる量は 200 枚
- ▶ プリンタのスイッチやボタンは 絶対に触らない
 - ▶ 紙づまり, 紙切れなどは近くのテクニカルアシスタントまたは技術職員まで.

アンケートにご協力下さい

提出したら本日は終了